

| Fintanとは？



TISI株式会社が誕生したことをきっかけとして、初めてFintanかわら版を読んだ方もいると思います。ここで、[Fintan](#)について簡単に紹介します。

TISインテックグループの開発現場で培われた技術ノウハウを、社内外に共有するWebサイトがFintanです。この活動の狙いについては、[Fintanかわら版創刊号](#)に掲載しています。お手すきの際にお読みいただければ幸いです。

✧ 4～6月のページビューランキング

2026年度の1Qも終わりを迎えました。この期間にページビューが多かった記事を紹介します。

1位：[テスト種別&テスト観点カタログ](#)

アプリケーション開発で用いるテスト種別とテスト観点を体系的に整理・提供する[記事](#)です。「テスト観点カタログをもとに、不要なケースの消し込みとプロジェクト特有のケースを追記することでテストケースを作成する」という使い方も出来ます。

2位：[全体テスト計画ガイド](#)

アプリケーション開発プロジェクトの全体テスト計画で検討すべきトピックを解説した[記事](#)です。計画を行う意義の理解促進と、計画作業の属人化を軽減することを目的とした記事です。

3位：[生成AIを活用したテスト仕様書作成の自動化への取り組み](#)

プロジェクトの設計書とテスト観点カタログをインプットに、生成AIでテスト仕様書を生成する取り組みを紹介した[記事](#)です。検証結果が定量的に記載されており、類似の取り組みを検討する際の参考となる内容です。

4位：[要件定義フレームワーク](#)

[本記事](#)は、業務/システム要件定義の進め方、成果物、活用技法、ノウハウを体系的かつ実践的にまとめたガイドラインです。REBOK等をベースに、要件定義の現場で使えるレベルまで内容の具体化・詳細化を行ったものです。

5位：[A5:SQL Mk-2 を使ったデータベース設計・開発の事例紹介](#)

SQLクライアントツールA5:SQL Mk-2について、SQLの実行やテーブルのデータ表示にとどまらない活用事例を紹介した[記事](#)です。

| 特集： GUIでOpenAPI（Stoplight Studio 使用）

今回は、[OpenAPI で REST API の定義を作成してみた（Stoplight Studio 使用）](#)を紹介させていただきます。API設計～開発を効率化するOpenAPIと、それをGUIで扱うツールについて解説した記事です。

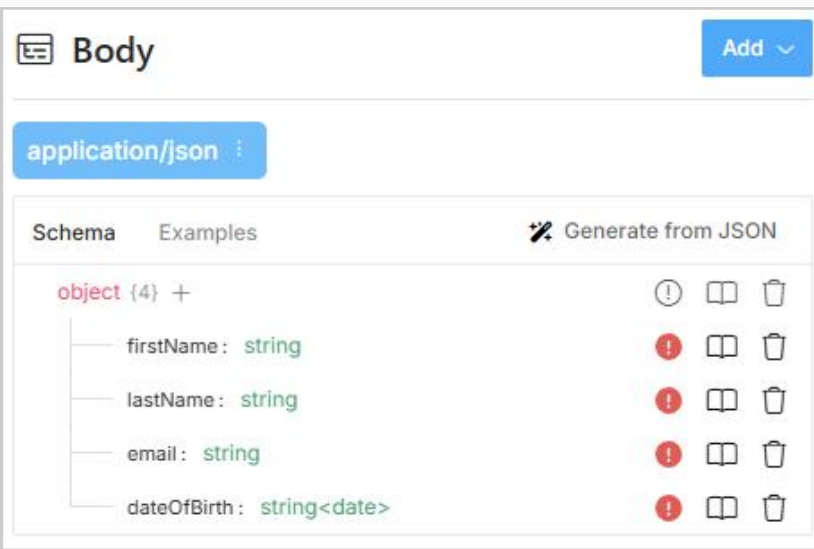
OpenAPIの活用で仕様と実装のズレを減らせる

自然言語だけで書いたREST API 仕様書を元に人間がゼロから実装すると、仕様書の解釈によって実装にズレが発生することがあります。

REST APIの仕様を記述する標準フォーマットであるOpenAPIを使えば、仕様定義から送受信のインターフェースのソースコードを自動生成でき、このズレを減らすことができます。

自動生成対象	説明
クライアント側 ソースコード	API呼び出しコードの定型部分を生成できます。 JavaScriptやTypeScriptのコード生成に対応しています。
サーバ側 ソースコード	応答処理を実装する際に使用できるスケルトンコードを生成できます。 JavaのフレームワークであるSpringや、標準規格のJAX-RSのコード生成に対応しています。

YAML/JSONに不慣れでも、Stoplight StudioならGUIで仕様を定義



OpenAPIは通常YAMLやJSONで記述するため、慣れていないと正確に書くのに時間がかかります。

Stoplight StudioはGUIで項目を埋めていけるため、必須項目の漏れや型の取り違いを抑えながら定義できます。

左図のような画面で定義をしていきます。詳細は記事をご覧ください。

プロジェクトで運用してみて分かった注意点とその回避策

新しいツールをプロジェクトへ導入する際、気になるのが運用時の注意点です。

記事内では、筆者が実際にプロジェクトで使用して気づいた「Gitでのファイル管理の注意点」や「外部エディタ併用時の注意点」、そしてその回避策を具体的に解説しています。

ぜひWebサイトで[記事本体](#)をご覧ください。